

# 指導救命士による主体的な指導 体制の確立に向けて

一地域MC協議会公認、救急指導体制検討  
ワーキンググループの取組み一



大阪府泉州地域メディカルコントロール協議会  
指導的立場の救急救命士による  
救急指導体制検討ワーキンググループ  
岸和田市消防本部 警備課 岬 大嗣

# 泉州二次医療圏と地域MC

## • 大阪府泉州二次医療圏

- 市町村：12市町（8市4町）
- 人口：約90.5万人
- 圏内三次医療機関：2機関
- 圏内二次医療機関：31機関  
•(精神科系7機関含む)

## • 大阪府泉州地域MC協議会

- 会長
  - りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター
  - 副病院長兼救急診療部長 松岡 哲也 先生
- 構成消防本部
  - 泉大津市消防本部 和泉市消防本部
  - 忠岡町消防本部 岸和田市消防本部
  - 貝塚市消防本部 泉州南広域消防本部
  - (※高石市は堺市消防局管轄)



# 指導救命士WG設置

病院前救護に関する教育



MC指導医師主導

医学的な教育指導



連 携



指導救命士主導

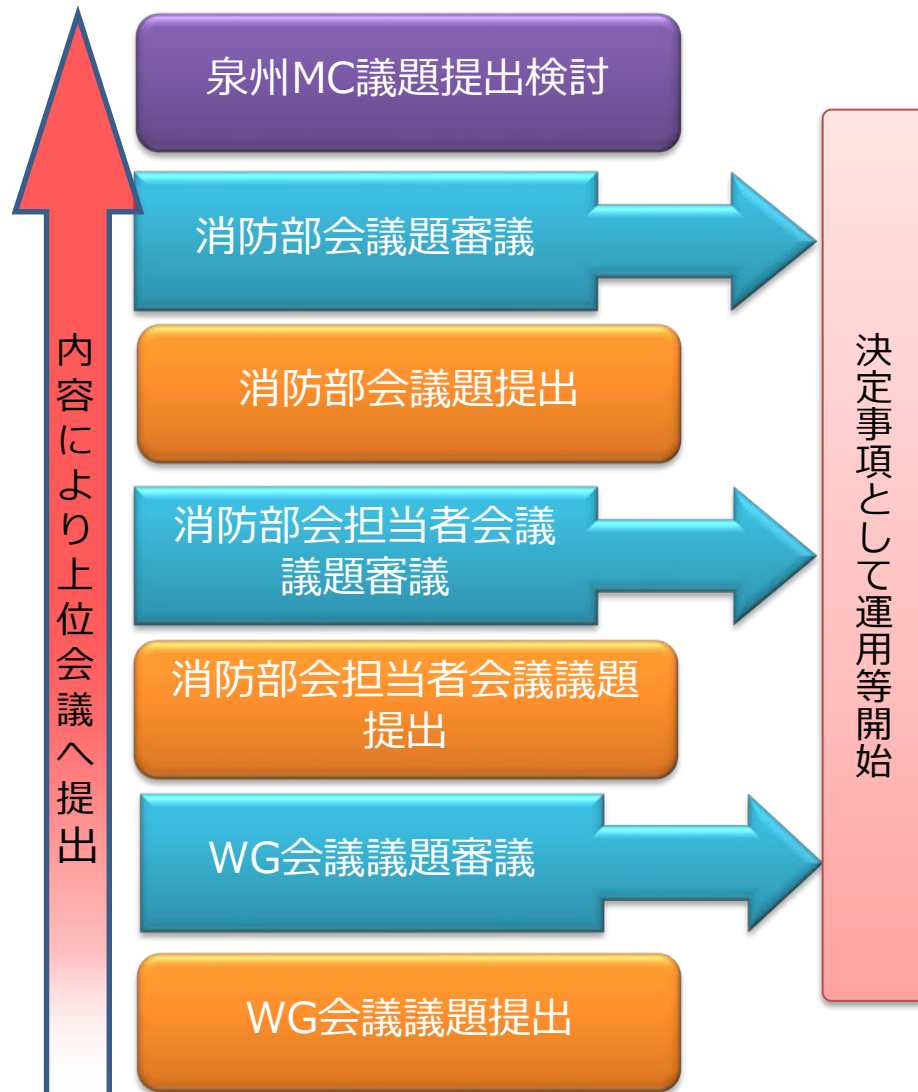
救急現場の教育指導

※ 指導救命士本来の役割を確立

# 指導救命士WG体制

## 【ワーキンググループ概要】

- 組織  
消防部会の下部組織に位置づけ
- 構成メンバー  
各消防機関から1名の計6名  
医師等の他業種なし
- 議題の提出  
メンバーから広く募る
- 会議の開催  
毎月1回、検証会議後や研修会后
- オブザーバー  
教育小委員会のMC医師に依頼
- 議題の決定  
内容によっては、上位会議へ提出

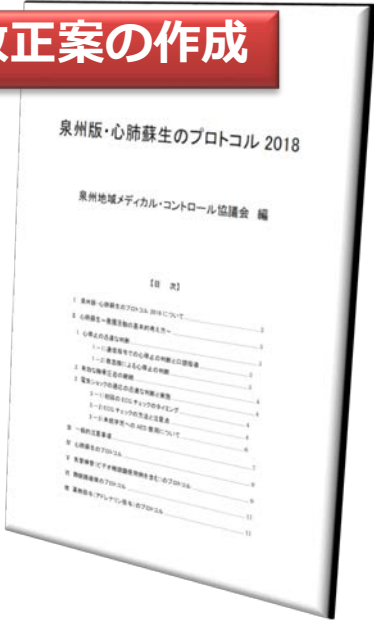


# 指導救命士WG実績

## 泉州版・心肺蘇生のプロトコル改正案の作成



## 救急基礎教育泉州MC圏域版の作成



What's SPICE

- Senshu Pre-hospital Immediate Core Evolving one (虚脱「泉州消防前緊急処置改善チーム」)
- 泉州地域各消防本部の救急関係職員対象
- 指導的立場の救急救命士による救急指導
- 指導救命士が単位付与する救命士単位認定 (MC会長承認の6ヵ月実施)
- 講師は泉州地域各消防本部所属の指導者
- 全員参加型のオープンディスカッション形式
- Spliceに準じた「適度な刺激を加える」が基本

**SPICE meeting**

第3回テーマ  
観察・評価・処置  
～今！しなければならぬことを考える～

開催日時 平成30年11月15日(水) 14時30分～17時30分  
(泉州消防前緊急処置改善チーム)

開催場所 泉州南広域消防本部 5階研修室

講師 近岡町消防本部 近岡 寛也 指導救命士  
考 指導救命士による救命士単位付与対象者カリキ  
(高千穂 孝 指導救命士)

Senshu Pre-hospital Immediate Core Evolving one



## 各消防本部での教育指導研修実施

## 全員参加型 ディスカッション形式勉強会 SPICEミーティングの開催



# 救急基礎教育資料



## 重視したコンセプト

- ・ 地域MCで統一したカリキュラム
- ・ 基礎から現場対応までの項目
- ・ 指導WGメンバーで項目を分担
- ・ MC指導医師による監修

## 教育目的

- 一. 泉州地域で救急業務を遂行するために必要な知識の習得
- 二. 地域の救急隊員の意思統一により病院前救護体制を底上げ
- 三. 救急隊員が医療従事者の一員であることの自覚を促す

## 教育項目

1. 救急業務とは
2. 地域メディカルコントロール体制
3. 泉州版・病院前救護プロトコル
4. 泉州医療圏における傷病者の搬送及び受入れの実施基準
5. 安全管理・感染防御・清潔操作
6. 接遇
7. 観察
8. 応急処置
9. 搬送

# SPICEミーティングと各消防の取組み

全員参加型ディスカッション形式勉強会  
S P I C Eミーティング

Senshu Pre-hospital Immediate Care  
Evolving meeting(泉州病院前緊急処置改  
善ミーティング)

- 各消防救急関係職員対象
- 各消防の指導救命士持ち回り担当
- 担当指導救命士が自ら企画調整
- 指導救命士による単位付与対象  
(泉州MC会長承認)



指導救命士がお互いに刺激することで、所属研修が増加  
平成29年4月～平成30年6月で32回 のべ631名が参加

# 今後の展望と課題

- ・ 組織の位置づけ  
ワーキンググループから部会設置へ
- ・ 各種学会発表の地域内調整  
D C 覚知同時要請プロトコルのキーワード検討に係る  
後ろ向き研究  
口頭指導検証に伴う分析結果
- ・ 教育指導体制  
救急救命士再運用カリキュラム案  
事後検証の対象
- ・ 大阪府、他のM C 消防との連携



# 結 語

- MC圏域内全消防機関の理解と協力を得ることで、指導救命士が主体的かつ組織的な教育をおこなう体制が構築できている
- 指導救命士が救急救命士を教育指導する本来の形が実践できていると感じる

更なる改善を目指し

- ✓ 地域MCの枠組みを超えた更なる連携体制の確立
- ✓ 消防からMC体制を強化できる体制の構築

